

バストス週報

NO. 147  
昭和廿八年  
一月一日  
発行  
登録名義人  
森幸一  
代理  
バストス自治会  
C.P. 26

第六  
一六年六計  
外部七計  
発行所  
バストス週報社  
RUA PRES.  
VARGAS  
C.P. 772  
発行人  
織田余音

謹賀新年  
バストス週報社

年頭所感

墳墓の地

バストス自治会長 石橋長見

長い間、雄伏していたわがコロニアも一陽未復、すさまじき躍進をとり、よい春が訪れはじめた。今年こそは今年こそはと、一歩一歩前進して、築き上げていく地盤であるが、今や戦前に数倍する経済的不動の体勢を固めつつあるかに見える。わがバストス移住地が、満植を誇り生産物の豊饒を謳はれて、た当時は外観も華美に、せは又の趣きがあったが、他面浮動性の強い懸掛け住民の多量たる事も忘れてはならず、甘きにはる糠の如く、舞き合った感じもせぬことは、なかつた。

正確な調査があつて、言ふのではないが、各戸の経済事情も今から考へると、頗る脆弱であつて、いは見かけ剣の情態ではなかつたかと考へられる節もある。数年前バストスから急激に他地方へ転住者と逸散せしむるの止むなきに到つたことがあつたが、之はひとリバストスに限られた問題ではなく、民族移動史にも似て、さまの客質を包含しつゝ行はれた自然的膨脹過程であつて、コロニアの全伯に打撃が前哨劇と見られぬこともなく、考へようはコロニアの運命をトする良い進うらと思へぬこともない。

ペネイラからふるい落されたものが、よいか、中このつたものがよいが、それは自ら別問題だが、少くともバストスに關する限り、踏みとまつた者には、それの理由があるとしても、共通な感情はあつた筈である。

余人は知らず吾々はバストスを離れかけたが、思つていない、少くも感傷的を云ひ方だが、母國の息のか、つていゝる移住地、たとへ最後の一片となることも、といふいな氣持が、無いとはいへない。

それに住み心地がよい、よしあしに、け浴衣がけで暮せる氣安さ、任み別れ、たといふ安心感の強いのも否めない、その財を積むに至つた人の多いことも、見のがせぬ。

それらの諸條件を組合せると、「心の

FAZENDAS ASAS PERNAMBUC FILIAES EM TODO O BRASIL

Bastos

「第一の故郷」に通ずるものも生じてくる。事実ここに生れ、ここを故郷とする白系子女も数多を数ふるに至つて、此等子女の醸し出す郷愁も全伯的にけがらつた。あるとすれば、吾々一世にとつて、バストスこそ墳墓の地たるの感が深いではないか。

人世に到る所青山ありといふ、吾々はここを青山とし、墳墓の地として、来る可き入植二十一年五三年の新春を迎へたいものである。さか所感を述べて、郷愛の一致結束を強化する言葉に替へる。(了)

謹賀新年

一九五三年正月元日

高田時計店

高田重利

バストス市新ビュルジネイロ・ホント前



謹賀新年

# バスター商業事務所

一九五三年  
元旦

浦 惠 樹  
西 喜 味 パウロ 徹



短歌

年末 年始

吹本 菊子

屠蘇なくも教の子のあり  
錫あり

東麒麟に年と云祝ぐ

池田夜詩緒

休奥のはけしきニスラ等に混る  
残業整理を

今宵急ゆり

山本 秋扇

昨夜の鐘さく病床に坐せる老父の  
哀ふ命 年越さんとす

賀正 一九五三年 元旦



注連飾 浦紀南子

注連飾正しく恩賜病棟入口

御羊酒や包を解けウイスキー

賀状の山文字柔かニニ手に

年玉のラッパに悔しありにけり

初刷の週報にわが名向友の名

債鬼の顔 大河内 祐木

年礼や債鬼の顔も常ならず

屠蘇に酔ひ哀歌の情定まらず

鶏飼いの初啼きもなれ鶏二千

初曆廿五年の 柳子 壁に

御座るふ法尾はかすれてニ世妻

## コチア産業業組合

## バスター倉庫



明けましておめでとう  
ゆきいます

# バル中村

中村 國政

アネマル バロス街 角

C.P. 一〇ニ番

明けまして御目出度う  
存じ上げます

# バルフリマベイヤ 中島食堂

バル経営  
渡辺 浩二

カールガス街

明けまして御目出度う  
ゆきいます  
本年も相愛りませす

# 阪東商店

バスロス市  
ドッキネ カシアス街

新年の御目出度う御座います

# 山本商店

バスロス市  
カトリリア  
カールガス街

## 随想

みのる

バスロス市 初めから斯くも瘦地でもなく、又此の奥地の田舎で薪さへ拂底する現状だけれども二十四年前は緑滴る原始林に覆はれて居た事に間違ひはなくそれ所が理想郷の建設に大きな夢を描いて斧を入れられたのであるが植民地建設も思ふに任せず、或る時は棉の嵐に吹きまわられ或る時は養蚕の暴風雨に打ちのめされ又養鶏は雌鳳の赤信号が向く掲げられていゝる現状で植民地の試練といへば試練である。抑も吾等は半官半民のフラ拓といふ温泉一帯で、それ程多くの恩恵を蒙りて二十有余年を過し、其の内容がどうありうと難れ難い第二の故郷である。それだけに自ら植民地型の植民者が培われてその工、所、悪い所をニミ取り上げて反者を促し度い。温泉と云ふものの結果から見るとフニヤク弱さがあつて人間の剛健に乏しく獨立獨歩の自立的氣力を欠き、兎角物事に依存する傾向が強く自らを養ふ背骨に乏しい事は否めざる実存である。其の反面に組織ニにも組織と云つて組織の訓練は他の集團地に比較して最も優れて居ると思ふ。これは御互に社會人として大衆工工傾向だと見る。しかし組織の訓練が優れて居ると云ふものは皮相の觀察であつて、一枚皮を剥いで見ると余り褒めたものではなから思ふ。去ふ事は一種の雷因であつて悪く言へば鳥合の象に通じ正しさを正しとして堂々正面切つて批判の出木ないのは寧ろ同情の念を禁じ得ない。

それは一面号令に忠実であると言ふ事で、まあ自己を抹殺する自殺行為であつて現今の自由民主の時代とは大凡逆行すること外ならぬ。更に今一步掘り下けると何んかなし難かに引張つて貫ひ度い氣持が一杯であつて、若し引張る者を失ふと道標の無い道で右往左往するのが現実と思ふ。

物事は悪い一面ばかりではなく及面の良さを考へると自己を抹殺することによりて妥協性に富んで居るので世の人と交る上には氣



ハザポ  
ハザポ  
ハザポ

全商品定価の  
割引は  
一月十日まで  
つゞきます

明けまして  
御慶びます  
本年もどうぞ  
よろしく

謹賀新年

# 上々島南太

上ヶ嶋 晴 男

フレシテント ウアルガス街角  
新ジャジネイロポント 前

安さを感じせし物事がスムーズに運ぶ良  
こがある。

斯うして見ると自主といふ背骨の欠如か  
ら来る種々の面を考へ合せて御互に大きく  
鞭打つ反省の要はないであらうか(一一)

—筆者 田中 稔 氏—

## へちま閑談 7

君は日本人か?

### 戸籍の問題

新年早々憎まれ口など、たまたかなくともだ  
まつて年酒でも召上っている方が、いかばかり  
剛巧かわかりんと君は言ふけれど、一口召上  
るとついそれ口が軽くなって何か言つて見ただ  
くなるのが柄氣だ。まアがまんしてくれ給へ。  
余の儀でいがないが僕の家では家内が三人  
目の男の子を産んだ。存存知の通り長男  
は戦時中、次男は終戦後だけれど領事  
館の再開前、此度は総領事館が開店し  
てからだ。勿論、ブラジルの戸籍には届き  
てから、名実共にブラジル人だ、顔を見れば  
ブラジル人ぶなれがしているが、立派なブ  
ラジル人だ。もう十年もたつて見給へ、兵隊に

新年おめでとう  
御慶びます

# パタリヤ ハストス

菊 池 豊

フレシテント ウアルガス街四二六

私こと従来パタリヤハストスを經  
営致し一方なりぬ御引立を頂  
きました処、今般都合により義弟  
菊池豊に一切を譲渡しました故  
私同様御愛顧の程願ひます

何 藤 崇 登

とられて、ブラジル國家に忠誠を盟ふにいたる  
だらう。

〇とらで戸籍の問題だ。君のとらではど  
う所置して居られるか、そのことがききたいんだ。  
昨年領事館の前身在外事務所が設置さ  
れて同もなく戸籍係といふものが再開され、死  
亡結婚届及出世届も受け付けることとなり新國  
へも告示として發表された。

〇僕等は日本生まれだし國籍が日本だから、たと  
へブラジルに永住するとしても、帰化しない限り  
諸君は日本の役場に提出しなければならぬと思  
っている。だから戸籍手続をいやくと發表  
された時は、ありがたいと思つて、すぐ手続をす  
ませた。両親の死んだのも戦時中だったか  
らそのまゝになつていた。届出でせよにおいた  
りその中と父母も日本の役場の帳簿の上で  
は、ハッシー 百歳になり、相定三百九十一歳  
などといふことになつぬとも限らない。

〇僕等は戦時結婚してブラジルの登記役場に登  
録され立派に手続をすませているから正式  
なカードだ。日本に籍がなければ、そのまゝ、  
でもよいと思ふが、無届であつたと父母の場合  
と同様、百歳のソルテロにさるから、両方共  
届けることにした。



死んだ両親や僕たちは日本人だから、それでよいが、ここで生れた僕の子（廣い意味でいふ）全日系だ）はスラシル人として登録されているのだ。そこへもって来て日本の領事館へ此等の出生届を出すといふことには、どちらかの國に世に出ない二重国籍といふ、どちらかの國をマシナクする決心がなされる行為となるのではないが、北米でも此の問題でスワタモンチヤリ二重国籍でない方が戦後にも大変調子より追出しているといふ。

日本政府としても、在伯同胞の子がブラジル人として取扱はれてゐる位のことには知つてゐるのであらう。それは何と云ふで領事館で世居を取り扱ふのであらう。日本に財産があつたそれと相続するとか、戸籍面を止すすわけにいかぬ家門の上からやむを得ない人もあるかも知れぬが、それら一部分の都合次第のに何十方といふ出生届が、いづれ手数を詰むことはあるまい。

それとも二重国籍にしてあかなければならぬ理由があるやうに教へてもらいたい。戦前にやっていたから別に緩するの急味で一応全部やつておくといふのであれば、それでも

一時の理由にはなるであらうから、よいとして、結局どうなるのか、どうするかの、日本政府としてはあく迄二重國家と奨励するものか、総領事館の序説明を承り度い。

今の内は、まだそれでもよいとして、二世の時代にリ三世の時代と成つた時、言ふまでも日本清と先立としてゐる時、一々総領事館に届出にゆくであらうか。

また、そんなさうの心配はさて置いて目今の場合、出生届書及はす、もし日本に歸る時、父と母とを別は、メキシコによつて國籍を新別することには出来相成りものでないか。

よきブラジル人と成りなると、訓示をしながら、だが、國籍は日本のへん入札で「あけよ」といふからくりであるか、新同社あたりも此の問題ととり上げないのは、どうしたものか。（日生）

謹賀新年 一月えと

信 太 兵 治  
信 太 茂

謹賀新年

一九五三年一月六日

桑元正齒科医院

桑元貞雄

郵 函 一 三 七 番



謹賀新年

一九五三年

一月一日

アウトロタツン組合

イアクリ駅  
汽車時間表

サンパウロ行	ロンドンバスターズ發
八時二一分	七時五五分
十五時三〇分	十五時
二十時四七分	十一時十五分

アママンナ行	ロンドンバスターズ發
七時三五分	七時五五分
十三時一一分	十二時五五分
十九時四四分	十九時十分

アララギ十一月にはバスターズより四人。二首想が去りました。大したものです。

改東教ニ

吹本菊子

朗らかに肩のホムと話しつゝ  
手のなきを食店に入りくる

とらとら我り綿ふく畑中の  
芽花がぐれに山羊の啼きをり

夕空の空にオームの鳴き渡り  
柿摘む子等のしほし見上ぐる

山本一男

焼け山の跡片づけも心急ぐ  
雨期来ればまた忙しくなる

パラナ州の弟文婦訪ひくれぬ  
七月十三日バスターズ移住祭の夜

日本にマンジヨカ栽培通ふなり  
食欠かざらん同胞八十萬

梓と葉安値に街のモロメント  
弱き日つづく店妻と守る

謹賀新年

一九五三年一月一日

講道館流

整正腹術

草原整正骨院

草原秀雄



バスターズ市ドッキテカシアス街 357





### 文藝

#### 句解さまぐ

紀伊大納言

古池や蛙とび込む水の音

A まつ蕉芭の此の句から始めよう、此の蛙はたゞの蛙だらうか？

B、たゞの蛙でないとする、つまり問題は蛙の主義思想ですか？

C 古池といふのは停滞している旧思想であつてその中へいきなり蛙がとび込んで波紋を起す、といふ所から見ると、どうしてこれに新動

想、乃至民主蛙でなければならぬと思ふ、

A、がそれだと飛び込んたあとで、ちやぶちやぶと泳がなければならぬ説ですな、

D 私に此の蛙を共産党と眺むてすな、

C すると古池は？

D 天皇制の問題ですよ、三十年の古い天皇制を打倒せよと云ふので共産党がほんと飛込んだ一時はそれに酔けさけ破れて波紋も插いたが結局それの一時を以て後はまた三十年の静寂に立戻る、



一九五三年 元旦

# 石橋農具研究所

# バスターズ発電所

石橋長見

従業員一同

し賛成！

「民主主義的に句解すれば」と言う河童は、うろへの中の一草ですが、こちつけや見当違いの句解が返って原句を価値以上に面白くする場面もあるものの様です。度々句会に出席していると時にはこれに似かよつた名句解に御目にかゝる事もあって違つた面から句会の楽しみを倍化してくれるのですが近頃お会った傑作の一つに次の様なのがあります。

○バスタールで死なしてくれと草花抜く  
去る日のツツパン句会の事でありました。清記された此の句が互選にまわつて来て、そここで物議を醸しました。「バスタール」が不可解なのです。多分バスタールの誤記でしょうな。そうすると牧丈になり度い。生涯を牧丈で送りた

いとせがんでいる人物が想像されます。いやバスタールは牧師のことです。だから此の句は信仰の厚い余り牧師となるを念願とする田舎が百姓とやめて出家したいと草花を抜き下ら

家長にせがんでいるところです。判らん句はとらん事ですな。そんなにも無理をしなさんでも、そこらにわしのエエ句があり



ますワ、なんとと仲々賑  
やかに手から手へと廻り  
行きました。やがて末座  
近づくに私の道所に、その  
句がまわって来ました。  
ニリヤアロストルの間途を  
する、ロストルで死なして  
くれと芽を抜く、エー句  
ですワ、つまり何ですな、持  
攻隊の勇ましいのが非を悟  
たす秋がない、自首なんど  
ころより、悪よく人を狙った  
ロストルで自決したいとカンボ  
に立って泣いと言ふ、非  
常に時代相を深く捉った作  
品ですな、昨日今日の馳けど  
しの人句ではないとワシは脱  
んたですな。

ロストルを巡って色々の迷句  
解名句解がとび出して来  
ました。結果は誰もが此の  
句を選ばなかったらで遂に  
作者の名は知るよしもあり  
ませんで閉会になりました。  
此の日は念願先生と近  
えての言は、ロストル大会とら  
た形の句会で、オ、ワルス、  
ポニペイア、バストスなとから  
も参加して、私を  
バストス組は時川、パワロの  
コシネンタル重役と山本秋  
扇、宮崎北照と私が全が果  
てて深夜を帰途についたので  
あります。自動車の中で  
話に自然と今日の句会の  
ことになったのですが、た  
たき、パウロ副社長が今夜の  
僕の自信句、誰も、一人か  
つた、判らん奴ばかりだと歌  
息して  
バストスで死なしてくれと  
芽を抜く……  
と節をつけて吟じ上げたも  
のです。ナインだ、あの句は  
ウのか、皆分らん判らん  
やとったが、バストルでなく  
バストスか、道理合かん

賀

どうぞ  
本年も直教しく

太郎田商店

アネマル、バロウス 街

夕口支店

フレシチンテ、バルガス街角

# ESTECOR

謹 賀 新 年

商業事務  
帳簿整理  
簿類書作成

Despachante de Policia

## エステコール

Rua Ademair Barros  
C. Postal 45

茂庭茂、東ビト-リオ。

# ARMAZEM DE CEREAIS OKAMOTO

謹 賀 新 年  
一月九日

豊後物産

岡本商會

岡本 勲

バストス市ドッキテカシアス街  
新ジャルジネラ、ポネの隣



謹賀新年 一月五日

# バール電

電 甲 保

テイスネンブク 街

C.P. 九番

思っだ、と異口同音に声を上げました、それにしてもバストスで死なせてくれは合点がつかぬ、バウロさん説明して下されや、

この句は僕の自信句なんだ。  
茅花（カワバの花）はバストス到る処にある先づ茅花抜くと言ふ事柄から女を想像してくれ、死なしてくれと言ふのだから老人であるのはさはすもがな、子供たちがバストスを連れてバラサジヤないマコロッソにコンチネンターのヨカ土地を買って

轉耕するといふ、老母はバストスは日本を去るまで爺さんの墓もある、自分にはオニの故郷である、とうか自分も日本に帰れんのなりバストスで二にたり度い、そうして裏庭に出て無心の如く茅花を抜き抜きしてると言ふ処を詠んだんで題しまして、バストス情話第一巻、バストスと茅花で充分判つてもらへると思つたが案外だいた

な、……有アツダ、そんな良い句なり頂くんだったっけ、だけんどバストルヤピストルじや採りようも無いもんな。

……と言つた調子で話題の句の作者も筆記の同達にも判明したのでありますが、中に一人夕子の再心の居りまして、ありやアバウロよワレはあの句こそ詠んだがな、  
白ピストスで殺してくれと泣きふく

謹賀新年

# 大野養鯉場

大野 養 雄

ウニオン I 区

加賀正

何卒本年も相不憂に引立此程を

# バザールキング

バストス市 アネマル パーロス街

木 林 辰 市

……いや覚えがある。

ワレフと歓声がよつて、勢で自動車は横揺れにゆれて、バウロの石頭と紀南子のお姫様の様オツムリが打つ合つて、火が出ました。歓声や嘆声や轟々といふ自動車はバストスの隣の町を到着しました。帰つて一ト泡ふかばんものど時川の舟那も自動車さ急がせたものでしょうか、行きよりも帰りは半時間も早く走つたまゝでありました。

謹賀新年

一九五三年元旦

サンタテレジンニア

# 福瀧裁縫女子学校

福 瀧 すえ子

アベニータ パウリスト幼稚園上隣

科目	普通科	六ヶ月
	速成科	三ヶ月
	研究科	随意
	料理講習	

寄 舎 完 備

謹賀新年

# 柳 浦 宗 一

アネマル パーロス街南



新米新米

# ブラジル拓植組合

## バスター総任地事務所

### 死線を越えて

淀野光子女史 講演  
十二月十三日 於産科会社

(一)

その時一座の中から一人の若い女性が発言した  
しまして、私共は大和撫子です、いさよよく敬  
りませう、生きながら辱かされるのはいやです  
と自決を主張しました、子供のない人は今な  
ら死ぬことが出来る。しかし子供のいる人は中々  
そう簡単には死ねない、子供をいかにして殺すか  
子供のいる者も同じく大和撫子でしこと、自人の  
死ぬことは簡単かも知れませんが、次山の子を殺  
すとはどうして出来ないかと云ふ事が起つて、子供  
の為に生きよう、何ごとか子の為めだ、いかに  
苦しくとも生きよう、といふことになりました  
生きのびる、...ことは皆簡単であります、この  
生きることにも実に容易なうぬことでありました  
それでしょうか？ 或人は馬賊になると申しま  
した、馬賊になつて山野を駆け回り廻らうと主張  
したのです、その時団長が申しますには、私は  
陛下のお言葉を守るのがほんとうだと思ひます、  
汝等堪えがたきを堪えよと仰せられたではあ

りませんか、ここの方が大切ですと懇  
々と訓されましたが、その時の言、白々胸を打  
つ訓示、その態度、実に団長は立派な指導  
者でありました、その立派な態度が皆んを  
救つたと思ひます。

私共は何としても祖國へ送りつう。あらゆる  
困難、あらゆる迫害に堪えて日本へ帰りませう。  
祖國へ帰らうと誓つたのであります、ああ  
祖國のあるといふことは何といふ嬉しいことであ  
りませう。  
それから毎日、労働をつづけ、疲れ果てて  
夜は夜で団を覆る、...その困難さは何といふこ  
とに、つくされぬものであります、只々子供  
を護る為めに皆心を一つにしました、女は弱  
し、それと母は強しと申します、子供の為め  
に働きつけました。  
それから、共同生活をこころめて、大抵、こぼ  
う、あけてもくねても同じまついものを食べて居  
る内、九月になりました、その頃は満人もほ  
つ、様子が判つてきたと見え、日本人をそ  
こから追拂ふことを九月一日に百五十人  
程、押かけて参りまして、団長に武器を渡せ  
と迫りました、今まで不安の中にも、こつて安



逃乎と守る

祖赤巻糸の巻られ

# 橋本蚕種製造場

橋本光義

全を保つことが出来たのは武器のあるおかけだ。武器を渡してしまつたら彼らはほんなことをするかも知れないと、心が騒ぎました。が团长は抵抗をしないことが出来る道とて九月五日に全部渡してまいりました。九月八日午前四時頃 タイマツをつけて多数の満人が押寄せ関の戸を叩く。何十人か判らぬ程でありました。我々は全部起すべく、最後だと決心しました。团长の命で皆子供を背負つて六時迄に冬れといふことでした。あと二時間しか有り。私は大急ぎで佛壇を燃やしました。織られるといけなと思つたのです。その他思ひ出になるもの全部焼きました。それから子供に着物をありたけ着せました。皆まんまるくなっています。その上に毛布を五枚程かぶせて。あとの家財は皆すててまい。子供だけをつれて逃げよう。そして、いそいでおべんとうを作り日の丸の旗をもって二歳になる双生児をおんぶし、三つになる子を腹部に抱え、五つの子の手を成き入つの子にリユウサックを背負はせ、実に奇妙なかつこうをてまかけました。恰ど朝の六時でありました。それからムウと落人

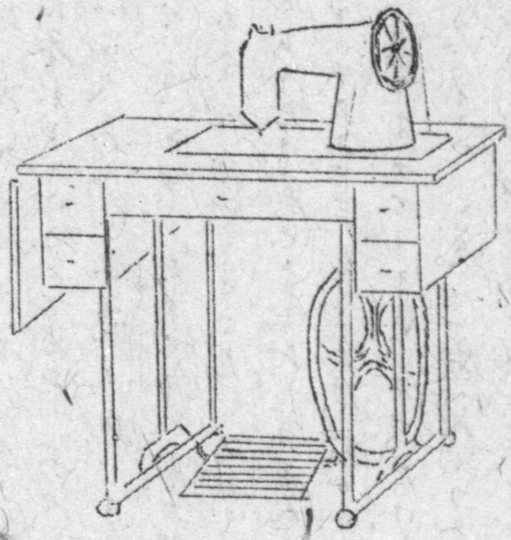
の群は、とある開拓団の馬糞場にかゝれることとなりました。十時頃満人がやつて来ました。とり上げた銃をつまつけて、あつといふ河に奪取と始めました。どうすることも出来ず、只息をひそめていろはかり、その内に家を開放火をしたので火はとくとえひうかりました。又方になると満人がまた襲つて来ました。子供のない身がうなる人は皆逃げ去りました。逃げた人は皆殺されてしまいました。たれもかりユウサックを背負つてをるから満人にもち物は皆とられまい。抵抗すれば虐殺されてしまふ。ところが子供をかかえて居る母は皆助かったのであります。思のよき殺りも、子を拒く女へは手がつかぬのであります。全く子供のおかゆで助かったのです。そのかくれ家も火をかけられたので外へ逃げ去りました。もうあたりはまっくらです。あるフレージョに逃げこんだ、腰のあたりまで水につかり、夜に子供を背つてじつとじん棒した。三時間位たつと冷え込んで来てどうにもなつない。又そこを走って振りかへると、あちこちの家に火をつけてる満人が見える。へとくになつて草むらに坐つて居りますと満人が来てお前達あちうを向い



謹賀新年

本年も宜敷く御禮申します

一九五三年、元旦



パイアアミシン

代理店

前田呉服店

太物部 アホマルバロス街  
ミシン部 万、ウマルガス街

四道とたのみました。又勇気をふるひ起し、文の子の手を引いで逃げました。夜の休息も出来ないので、大木の下でねています。地の温気が身体にこたへ、子をかばって転々と身体と動かすので一睡も出来ません。そして日中にすると、やたらに口がかわいて、眼前がぼろとぼろになるのです。

たまに、飢えに煙の苦者をかじるのですが生では、いやらしく臭い。ミリーヨの生まを喰む。泥水をのむ、といふ有様です。八つの子はニオの子を背負って歩きつづけました。

ある臨月の奥さんとタシ架がせて歩いていける人もあります。ウシ(喰)って居るのです。三日三晩歩き、疲れ、もうこれ以上歩けなかつた時、向ふにおツと灯が見えました。さア急げと又前進します。高深煙の辺から小銃の掃射です。皆煙の中に伏せると頭上をバラ／＼と弾が落ちてゆく。はじめの経験でありました。

やっこの光の方に近づいて見ますと、やれうれやみれは開拓団の一つでありました。そこへ送りついではじめ、お飯を炊いていた。ガツ／＼とむさぼり食べたのであります。ソンの開拓団は、まだ安全であったが、初五日午前十時、遂に満人の襲

てきれと命合するのでおかしいと思ひました。これは後ろから撃つなと思つた。殺されることを考へたので、いよいよ最後が来た。皆さん、祖国と運命を共にしましょう。恐いことはありません。信仰が大切ですよ。と何かい言ひました。その時誰一人不安をもたなかつた。です。観念した群けでありました。不思議に何ごとも起りませんでした。

その内、団長が血を吐いた。そこへ来ました。開拓団の事務所には金庫があって、御真影や救語がおさめてあった。満人が金庫を開けろといふのを色々に説明して今の命運張って居た。満人は遂に団長を刺した。団長は内部のものも皆やめて、勅語と書美だけを身体にぐる／＼巻いてやりやく逃げて来たのであります。六十四歳のこの老年の団長は、実に生命と賭して大切なものを守つたのであります。

正

相かわらな  
中列主の程観とけます

キタニカ

古澤 市次

アホマル バロス街

謹賀新年

三野製菓店

三野 善一

万、ウマルガス街

郵便 二九番



バストス市 アネマル バロス街

# 奥田齒科医院

ドトール 奥田 耕

恭賀新禧

一九五三年元旦

郵函 三番

バストス市 フレシホンテ カマルガス街

# 畜産業

奥田民藏

殺害を受けて、こどもすつかり奪取されてしまいました。黒メガネをかけた満人がコン棒で一人々々をかまかせに叩いて衣類をはぎとるので、もちろん金もとられてしまいました。毛髪の中にかくした婦人など髪をつかまれ引倒されます。私は子供のオシメの汚物のついた中へ金とまるめてのせいで道はたへなはてさしました。さたな、ものと思っただも思わぬ、神様に祈った軍装があつた助かりました。最後になりまして之が大変役に立ちたのであります。

この開拓団と一しよに、シナイ組とバツテン組に分れ、コリヤをたべて露命をつないだが満人の考へでは日本人と全部かつ死させると企てた。たつた、人間の求めで、やまぬものは、水と塩であります。その塩が、や、と或る満人から少しの塩をもらって、少しつ、手にのせて、それをなめたのです。笑に、そのおいしいこと、い、た、忘れられず、味があります。私は、塩のことで上杉謙信が武田信玄に、け、感後、から塩を送った古事と思ひ出したのであります。そこで不自由な一月を暮しました。皆、エリーの痛にやせて生きていました。その中、その部落へ、連兵がやつて参りました。左手の手首が

ら奪い取った時計と腕一はいにしは、り、行、の、です。魚智を、黙、の、よう、を、彼、ら、は、彼、ら、を、つ、ね、ら、で、実、に、困、り、ま、し、た。手、向、い、す、れ、は、殺、さ、れ、る、の、で、じ、つ、と、が、ま、ん、す、る、よ、り、は、方、が、い、い、女、は、皆、髪、毛、を、切、つ、ま、し、ま、い、顔、を、な、べ、す、み、ま、い、長、い、切、れ、を、く、ら、乳、に、ま、い、て、上、か、り、ま、い、れ、ま、も、女、と、判、り、な、い、よ、う、に、い、た、ま、い、た、ま、い、番、坊、主、の、か、つ、こ、い、で、す。夜、に、な、る、と、ホ、イ、イ、と、ま、て、ほ、と、す、る、と、の、母、も、も、乳、が、出、ま、く、ま、い、ま、し、た。鹿、見、島、組、廣、島、組、に、合、れ、て、実、に、ま、た、な、い、情、好、で、豚、小、屋、に、つ、ら、を、し、い、て、夜、の、つ、ま、す、が、風、呂、に、長、い、こ、と、入、ら、ぬ、の、で、く、さ、く、な、つ、こ、い、で、毛、じ、ら、み、が、濡、き、毎、日、し、ら、み、取、ら、た、其、中、で、あ、り、ま、し、た。

かうして何の希望もなく、はや、上、月、と、ま、な、り、ま、す、と、実、に、悲、慘、な、こ、と、が、起、つ、て、参、り、ま、し、た。子、供、ら、と、祭、疹、チ、フ、ス、が、流、行、し、手、当、ま、も、生、来、不、医、薬、を、く、高、熱、に、う、か、こ、れ、最、後、に、は、臨、牒、法、と、呼、び、ま、お、母、を、い、と、と、叫、び、な、が、ら、死、人、下、り、く、の、で、す。十一月には、約、二、百、五、十、人、の、子、供、が、死、人、の、手、傳、い、ま、し、て、お、る、不、在、の、間、に、次、と、三、人、の、子、を、失、い、八、つ、の、子、が、看、病、と、い、た、を、あ、り、ま、す。



氣候は寒くなるのに着物の補  
 物が少ないので子供が死ぬと着  
 物とって生かせる子に着せ  
 裸にして土葬しなす。死と深く  
 縁をこが出来ずいでもから夜  
 狼が来て堀りおしく食ふ。その  
 地獄の形相でありました  
 病氣は子供に止らす。大人も怪  
 病して二十才三十才の人口減  
 ったが、老人は次々と死んでい  
 しまいに死骸の好末にこまっ  
 て死と恐るる事が出来ず、之を  
 くことに致しました。息を引  
 取る時、最後に臨終炎を  
 ているもので、今高橋に  
 あります。たとへ老人習せり  
 場合であります。必ずお母  
 さんといふのです。聖心に  
 へつてしまふといふのでしようか  
 母の慈愛の深さ、大いに驚  
 びかりであります。

死がいき焼く、あ、昨日は  
 自分の番だと、敬虔思つたこ  
 とであります。

はじめ木を祀り、横に死が  
 ニ体も三体もその上になり、上か  
 らワラを山かぶせて、夜の十時  
 少きつけ、夜中の二時頃又見に  
 ゆくのです。遠い山中へも、マ  
 や、めです。死がいに、よくやけ  
 る人と、うま、やけな人もあり  
 習はかり、それいにくの、こ

る隣には、おだ胸腹部、や  
 け、生きたわりの悪人、あ  
 る、それをフコソクでひくりに  
 へて、又、通すのですか、何  
 の因果か、まかり合せてありま  
 せうか、剛世の約束といふので  
 あります。どうか、私は毎日死か  
 い焼さが仕事で、しすには大  
 変上手になつて、ついで、大いに  
 自信を強めるに到りました。  
 うまく日本へ帰ることが出来  
 たら、オンボロになつても若こ  
 れると考へたりしたこともあ  
 り、六百人が居りました。団員も、  
 まいには、おれや、僅かに百四十人

謹賀新禧  
 並祈高堂萬福

# 藤原金物店

藤原直輔  
 バストス市 アテマル バロス街  
 郵便 二八六

賀正

一九五三年一月一日

## バストス

# 産業組合

役員一同

賀正 一月五日

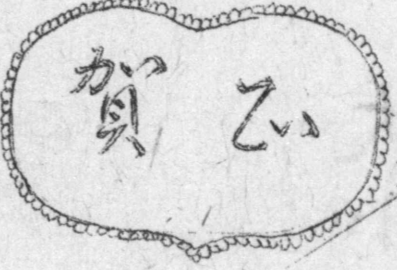
旧年中は格別と御引立に預かり有りかたう存じます  
 本年も更に倍し御利用下さる様願ひます

# 前山商店

前山義雄  
 フレシテント・バルガス街  
 C.P. 二三番



# コシツタ寫真館



賀乙

一九五三年

一月一日

古田正雄  
高谷幸一

郵画一七

# 古田製菓店

古田義松

と存つてしまひました。鹿兒島組は、その頃を祝ふの意見をもつて東に向つて去後したまふ消息がわからなくなつてしまひました。

始めに死んだ方が遙かに樂でありました。残ったものはだん／＼苦悶にやつれ果ててしまひました。

翌年の二月私は肺炎で遂に、たはれました。四度の熱がつかゞ肉は赤々を落ちて目も見えよせん勿論藥もありません。私の病中のころでいたい子が死に、九つに落ちた子を抱いて山にも、そゆき大森に付したのです。やけも道たもつてそばにフソといひ泣き必死を捨てて帰つて参りました。

私の病氣は、自分と犠牲に、我が家のことを打ちすてて他の病人と看做してふけた。それの結果である。外の奥さん方が同情して下さつて皆して、私を看病して下さつたのでした。その愛の一心で私は命拾ひしたのであります。あゝ、互人間同志が真心を以てせに奉仕する事にはやがてそれ世界を救ふ力と云ふのであり、愛は自己を救ふ所以である事を感ずた。次やあります。

もうその頃、某団生活をすることも食糧がなくなり、やむを得ず分敷してゆくことになり、満洲に赴ける女中生活を始めることになりました。

生きる為の、つらい方途であります。前に使

つて居た満人の家に行つて置いと貰いたいと言ふと子供があるからいかんと断られた。そこで子供にだけ食べさせてくれ私は食べないといつて頼んでおいて

世にしました。満人の家は、一室に主婦親子が居て、皆はだかので寝て夜中、大きなバシロに大小便をする。朝になるとそれに一杯です。四時頃に起きると

その便器を洗へといふ。鼻をつまんで外へ投じていやく顔を洗つていふ。人間の身体から出たものた

何がまたないことがあるかといつて、好むもの、その器をピカ／＼光を程みかいて空につけてある

一番棚の高いところへ飾つておく。その下の方の棚には食物や食器が、やうべてあるので、習慣

とはいひ乍ら日本人には中々習へないものであります。色々と雑用をいひつかり働くのはよろしいが、夜には

と実に困ることが起る。即ち好色の満人は、家内だけを満足しなさいで因習におどる。私の方

に近押かけてくる氣配を見せはじめ、ある夜は

おは九つの子が、その満人の腕にかみついたり、私を守つてくれたりしました。何事も胸でほいて

顔で笑つて子供を、居りました。この好色



バストス名産

干そば

玉子入り ひめゆりそうめん  
一般 日本式 うどん

バストス製麺所

フレシテンテ、ヴァルガス街 四一三

謹賀新年

併祈 祈尊堂之萬福  
尚願 將來之御引立

サービス満桌

ホテルサンパウロ

オスワルドクルス街 四四四

池田正雄

郵函一一〇

大小御宴會  
會席御料理  
和洋御料理



恭賀新春

一九五三年一月一日

島藥牛ササ

佐々木南天子經營

RUA PRES. VARGAS

C. P. NO. 55

漢の襲撃には居たたまらなくなつて、そこを  
 逃げ出したが、色々考へた末、自己の才能を以  
 て生活をするに如くはない...と思ひまゝソバ  
 ンをばいて見せ、裁縫をして見せたところ満人  
 が感心しました。満人の裁縫とは一針づつ縫  
 中をさすような縫ひ方をしています。それを日本  
 式の早縫ひにて見せたところ、首をひねつて感心  
 するのです。又、字を書いて見せてやりました。そ  
 うすると、やうやくなつとくして優遇してくれました。  
 私の知り合ひの婦人の方で満妾になつた者は  
 多かったのであります。その人たちは支那服を  
 来て、起居も不自由なく暮らしてゐたようです。が  
 私の所へも来て、そんな苦境を守るより一を満  
 人の妾になりなさいといつてすすめるのです。が、子  
 供はいつもお母さんはあんな服着ないねと  
 しきりに私を守つてくれるのでありました。子供  
 への愛護にあらゆる辛苦をして身を守ること  
 は中々の難事でありました。私を守つてくれた  
 その子は、今年十七歳になつて居ります。  
 以下次号

淀野女史の死線を越えては笑に涙を  
 ぐりては見ることの出来ぬ体験談です。  
 次号を以て完結いたします

サンジョセ中女子  
 フレパラトリヨ 開校

来る一月七日午前八時よりサンジョセ中女子  
 の準備、フレパラトリヨが開校されます。  
 尚夜間中女子を希望する者にとつては同  
 夜七時半より開かれ、其に入學資格は  
 本年六月迄に満十一歳、スルッポ卒業生  
 たること、詳しくは同校事務室と御訪ね下さい

萬年筆が落ちていた。

旧臘十二月二十日、市内山本商店に買物  
 につき、万年筆を失つた人はありませんか  
 マルカはエステルプロック。同家の二ワに落ちて  
 いたのをネーちゃんをひらつて保管してあります

のと自慢大會

一月四日執行ののと自慢大會は一日く  
 り上げ一月三日夕七時半とされた。  
 皆さん、おまちがいないように。

明けまして御自出度う

御座います

雑誌 雑談

小松商店

バストス市  
 プレシデンテ・バルガス街  
 C. P. ニ十九

謹賀新年

一月元日  
 旧に倍し御計立の程願上ります

杉 異服店

バストス市  
 アタマル・バロス街  
 C. P. 一八一



謹賀新年

カササキ

喜多 徳之助

フレシネンテ バルガス街 角

新年あめでどう

セメント細工所

石碑

人造石一式

モザイク

C.P. 261

杉山寅造

かきなるあめでた！ 二組

ウニオン正青年団の先輩今日はひばり音楽  
団の重鎮三宅照石(三宅又吉次長男)は田  
中穰氏(又吉の媒酌でサウテ区)秋原梅子嬢  
(秋原又吉氏三女)と目下度々ゴールデン  
る一月十日

次は一月十七日にも一組 新夫婦が来ます  
中區青年団員 菊池豊石(日ッパ市)の本  
房枝さん(同市山本道雄氏三女)と有楽一  
さん(又吉の仲せ強でゴールデン) パ・ベンス!

菅原氏の殊勝な... 新洋牛丸

注連棒... 世の人のため

軒に注連棒を奉仕... 年神祀る

神を祀る祖... 注連棒奉仕



正月川柳

貝田 凡児

哀樂で這ひつめられた大海日

ほんのうを掻きとほして吳水除夜の鐘

魂を揺りつ、明け暮れ四十年

春先と隈、よく浴びて来る平和

湯井 北泉

お目あ度うどころか歳が萬人で苦の頂上

果報日袋で居候の條正月

新年や又殖える子と衣れの年

石橋 新三

外國に重ねる馬鈴薯春林

元日や積鬼の餅も収まりて

元日や後、何本か一里塚

アイロン... 年賀客

明けましてお目去度う

市座います

皆さまの唯一の

娯樂場

シネマバンドイランテス

古賀 茂

美術家具商

八重樫辰見

バストス市

ホイスネノベンス口街

C.P. 116

Fabrica de Moveis

賀

正



明けまして御芽出度う存じます  
本年もどうぞよろしく

# バル水口

水口 務

郵画 五六

新ジャンル  
ホント前

俳句 さほてん同人競詠

新年粧 及 夏粧

吹本 菊子

其の中に入りは秋留多しを繪でとる子

祖父に和し祖母も山声に謀初め

何するとなく日のたちし松の内 吉田あづま

書初や卒業の娘に墨すしとせ

背のびしてハンカを振って泣いてをり

初シネマはスキーでありし 極暑の夜 山本和枝

涙もろき父を囲みて笑ひ初め

お年姪やトラクターにも愧かけて

バラシサも すっきり拭き 店始め 真神北斗

初日の出 都心の大扉 開きけり

清貧の骨まで深き 初かまご

酒酔系音と先が忘る 年姪くじ

# 賀

一九五三年元旦

SAPATARIA TITOSE

# 千歳靴店

黒木 富藏

バストス市 CIP一三〇番

ドッキ 六カシアス 街

謹賀新年

山本 秋 扇

我が星の三碧は黒、去年となる

初刷のバストス週報に 佳句多し

日記賞ふ吾とあまけり彼も賞ふ 溝口 余 瀧

青みかん 飾りれりあり鏡餅

牛遊ぶ緑の牧に初日さす

鶏飼へは餅正月とも 方かひり 時 川 一 秋

年礼にゆくトラクターを引さおしぬ

教の子を密輸品とて母さす

礼受に瓶水ぬ未ぬは 退屈系 松本 福花

初日の出 平和よ白き 鳩の舞

年ありた きぬもあらたや 船の祝

遠雷や 何か親しき 吾の如 改 東 考 歩

初鶏の千羽万羽となき交し

輝なくや 鉄筋也けりく午前九時

白日午 まほゆし女ふりむかす

# ジエケリ農産組合

バストス出張所

CIP 九一番



賀正

一九五三年

一月九日



株式會社

南米銀行

バストス支店

郵函一一四

禱賀新年

一九五三年元旦

バス製造業會社

バストス工場

郵函三九



### ホリネス教會の ナタール祝會

十二月十五日午前十時半バストス、ホリネス教會ではナタールの祝會を開き、カトラコ通りで行つて、時半閉會、子供、婦人等が多く大人も交え百數十人中の盛會であつた。子供の爲めのナタールのお祝ひで、催し物もすつかり碎けて、少年少女の遊戯、対話、劇などが、放送真似など次々と新趣向とこらし子供たちをよもうはせた。飛入りにバスター教會の若い牧師を中心、男女二人の合唱があつたが、合唱と一その巧妙さは寧ろ、同教會の青年男女十名より成る、ほんとうの四部合唱の方が音楽的に價值が高かつたようである。それによつても内山信司君のタクトはすばれたい。もし、君が潜美歌外の歌を唄つてもよいといふ自由のワケの中で唄ふと、恐らく男性低音ではバストス並近隣近郊では君に及ぶものはないであらう。

尚同教會では、朝鮮の哀れな日曜學校の子供の爲めに特別献金を取扱い、見舞金として贈る由である。美しいこの一つであらう。

明けまして御目出度う  
とうぞ本年も直教しく

### 日本送金、小包發送取次 植木商店

植木 西二  
バストス市 アポマルバロス街  
郵便 五三

### 謹賀新年

一九五三年一月一日

### 小茂田吳服店

小茂田 光明  
バストス市 ドッキネカシヤス街  
郵便 一二三

謹賀新年  
相愛らば御覽展に頼みます

### 宮崎寫真館

バストス市 テイスネンペンプロ街  
C.P. 68

明けまして  
御目出度う御座います

### 板垣藥局

板垣 壽 勢 雄  
バストス市 アポマルバロス街角  
郵便 一二九

新年のうた

小松 修 水

講和後の二年と連ふ將來に  
おのづからにして心は及ぶ  
小商賣しながら葡浪の習得と  
吾に過渡期の年あうたまる  
店挨拶は落して三日午後  
年賀パーティーに招かれてゆく  
真神鳴草

コロニヤの廣き山河を一刷き  
今のほり来る 初日燦々  
失 名 子

場詰の蜂蜜を貰ひ 新春の  
火酒にまぶさミサシが、飲む

うかつには老いそ居られずアメリカの  
大統領にアイクがなりました

満州より死線を超えしかの女史は  
胸張りと犯され ぶうしと叫ぶ



# 福のしるし

昭和八年正月元旦

食料品  
雑貨  
雑穀

# 梶田商店

バストス市アテマルバロス街

郵便函六七番

梶坂 梶田  
田井 敏  
實 明 勤

## 年頭所感

### 邁進あるのみ

西 徹

バストス聯青の規約では役員改選は毎年一月と定めて居りますが、実際にはおくれ勝ちで、ともすると三、四月頃になるようなこともあり、ますので旧臘中、各団役員とも申合せを行って、十二月二十日に役員改選をすることに存りました。十二月中に新役員を決定し、新役員は新しい抱負と企劃を以て新年度に臨むことが氣分の上からも仕事の上からも望ましく思はれますので、これを実行することになりました。

選挙の結果は前年度と大差なく、二の部門に人が代ったのみでした。私は十数年来青年団に属し、特に自分出身が少年野球であった関係上、野球部とは深いつながりを以て終始して居りますが、聯青の団長になるなどといふ考へは、夢にもありませんので、昨年度副団長に推され、団長の三野先輩が就任を引受けぬので、押し押しに団長に押し上げられ、副団長欠員のまゝ、昨年度を乗り切ったといへば大愛用云々は、よいが為の内、日を過ぎたことは誠に申わけないこと

思つて居ります。私は団長の席に安んじられたものではありませんが、強いて固辞すれば、勤惰や派閥を起す原因ともなりますので、その容量ではありませんが、再び御引受けた次第で、幸ひに他の役員諸氏の全面的支援と後援があり、ますので、それにあすがりして、今一期勤める覚悟を致しました。

既に二期目の就任でありますので、今更全団員に望むとか、全団の行き方、在り方等について述べ、何物もありませんが、青年団の勤まるといふもの、社会性について考へて見ますと、実に大なる因果、關係をもつて居る事に氣がつきます。

そして、実社会の一員として早くも家長級と席を並べる運命にあるので、あるべきが、青年団の特異性、年齢的により、客観的、分析的に存して、中々ことが、青年団と、より活氣あり、勤性の修養団体として重きを加へることに役立ち、たは、ないかと考へて居ります。

そして、団体の形と合法的なもの、即ちフラスコ法の現に則つて登録した、内、個人団体と、団体として、登録し、急務と考へて居ります。

口をきか、団体ではなく、団体としての行動も、法現に於て自由に振舞へるものでなければなら



りません。青年團に對する、是れが希望  
御注文もあることと思ひますが、家長、父兄の興  
隆に應へ得るようによき行動を示して下さる  
いと考へます。

「通進の一途」なる目標を掲げて健全な  
歩みが続け度いと思ひます。幸いに皆さまの  
支持と御難題と希て、燃すものであります。  
一筆者は、解青社団長 一 (了)

### 泉 群一博士 未植

予ねて移民の生態と研究の爲め未植中であつた  
東大社會学助教泉群一博士は、トリスバ  
ラス移住地よりジカにて去る十二月二十日未植  
畑中氏アパートに宿舎と定め翌日より活動と開  
始年末迄滞在。(次号詳報)

### 高島清助氏 移転

バスター開拓の元老高島清助氏も病氣には勝てず  
三三歳程静養中であつたが歩行が出来ぬよう  
になつたので、かねての希望通り聖市サクラ区の内  
先で暮すことになり去る十二月十五日二十五日のハ  
スターに隣を告げて、こびりく移転された。

皆さん、おけまーとあめでどう  
やないます

品質本位

## ウキタの

## レイテ

清潔で絶対まじものな

牧場クワリヤ工区沼田現尔

謹賀新年

一九五三年元旦

## 中央薬局

西川 誠一

アテマル パーロス街

一九五三年一月一日

謹賀新年

# ポスト・ジュール 後藤利一

バスター市  
アテマル パーロス街

## 虚礼か實礼

清の人

年末年始の商店の廣告などを見て、内  
にふと思ひ出したことですが、商店側では有  
る可く余計に賣り度いから景品附賣出れ又は  
福引、いや一割引だ二割引だと盛んに、アジるも  
のですから、つい廣告に釣られて買物をする者  
あります。安いかうと、安いかうと、安いかうと、安いかうと、  
「安いかう」といって不用のものを買ひお  
く程不経済なことではないし、やると経済道学者  
瓜に喝破して「まふのも、まことに味のよい言葉で  
あります。メクラガシネヌに行くのを笑ふ人は  
多いでせう。同様にオシガの自慢におかける  
話もあまりききません。しかし、おかけたかつと  
いって文句をいふ助けはないと思ひます。  
気分を味ふ爲め、たゞも葡語や米語(？)を解  
せぬでもシネヌを見にいって、けこり満足で、さうと  
いふことです。

年末が来た。ナクルが来た。そこで喧あわてて  
買物したり贈物したりします。贈物と買物  
方も之とあてにし、贈物をする方も之を心かもし  
にしているのです。日本式にいふ盆正月のつけ廻  
り、結婚式を丁式を、出産を、栄転だ、といつ



世にも之ばかりは絶えぬ  
様であります。

みんな志を立ててフラジル近  
来たのだ、旧来の陋習を破  
り、もっとカンタンな新社会  
制度を確立しよう、と、いつて  
さるシンジケートの親方は、移  
民結婚式のフレと出たことが  
あります。一、酒はピカがたる  
こと、二、ピカがのめぬものには、  
蜜柑の汁にサトウを入れたもの  
を供すべし、二、招待する人は  
区長、組長、男女青年団長  
及親戚たること、

三、食物は煮炊きせず、ケン  
ケンなるモルタライラ、カンツメ  
の扱きものにて、すませること。  
またその他に服装に関する  
規定など、あるが満州移民  
が華やかになりし頃のキンガあた  
りのニユース、寫真よりしく  
モンへに頬かむり式でヤル  
と訓示されたものであり  
ました。

ロせい沢をいま一め、やうへ  
く質素に取り行ふことも誠  
に申し分ない主旨であったが  
遂に之が実現を見ず、かつた  
のは、どういふわけでありませ  
うか。

ロエエ結婚は人生に於ける一  
大祝典であります。かつリン  
がやうとしみだした水たこと、は  
亦大いにセルベージ位おしく  
振舞ってお客にふるまふ位のカ  
クゴきもつてほしいものでありま  
す。あるよつぱらいがエミビ  
ツをトたさるシンジケートの親友  
は怒って翌五日その演じた有  
幸と呼びつけて、その不心得を  
こんくとこした。ふ話があり  
ます。あや商店の主人  
は、ものやとりを産社た  
と、いつてハイセキし、贈答品  
止論をとなへました。が皮肉な  
ことにはその家の大奮頭は  
フラジルの移民生活の如く

明けまして  
めで  
と  
す  
す

アテマル バーロス街 (ロンドンホント向ヒ)

# 大家 呉服店

御氣に召す様  
入念に仕上げます  
すれば何卒倍内  
御引立願上ホます

山臘之賣  
中は賑々守末石  
き賜はり厚作礼  
申上げます  
とうそ 本年九月の借  
申引立の程願上ホます

Alfataria Imperial

新年御目出度う御座います  
新型流行は常に本場に芳らぬ様、皆様の身命  
御氣に召す様  
入念に仕上げます  
すれば何卒倍内  
御引立願上ホます

丸山洋服店

丸山

加賀正  
カーガ コロニア

# 道商店

一九五三年一月一日

アテマル  
バーロス街  
丸山



SATO E CIA Ltda.

賀正

一九五三年一月元日

セ  
ラ  
リ  
ア

現場主任

會計

外交

佐藤 福太郎

喜多 徳之助

古田 義松

吉川 一馬

後藤 利一

ハ  
ス  
ト

正 梶 田 伴 琴 松

ラジオ 取次 販賣

干燥魚味なる所では、カボチメントの如きは一つの  
大フェスティであり隣近所はふもあろか部居  
中の人が集って、ごちそうを作り子供も女も未席に  
吐ってお菓子の一つも世食ふことが、いかに楽しいことか、  
それは、金銭にかへられたい比喩であることと知りな  
ければならぬ、せい次とするるといふことと、かゝる  
素朴な振舞との区別が未だ式制をもうける人  
を、少りとも移民の实体と知らぬものだと喝破  
した。日頃作世話にまつてい人へ年未だからナク  
トルだからと名をつけて心ばかりの品をよつてゆく  
事は決して虚礼ではない、人間の至情だと主張  
した。贈物を虚礼だといふ人、実礼といふ人  
どちらが正しいか、皆さん考へて下さい。  
自分に回して虚礼だと思ふ人けやめたが宜し  
い、その位のことですべきだと考へる人は実行  
して下さい。生活改善だの虚礼ハイシだの余  
り大言壮語しないで、やれるハシイでホクヤ  
らうでは有りですか。

御詔勅奉戴論

此の一文は一九四五年十一月末当時の青年団  
幹部諸氏に送った書簡で、公開的のもの  
であったが、途中紛失してしまつた。青年団  
内務も例の勝算問題でござつたがへして居る時  
だった。あの頃の不幸さに比べると、今のバ  
ストス青年団は、まさしく幹部を得て、幸福と  
言はねばならぬ。当時幹部であつた人も、や  
むに止まれぬ時流に押されたことであらうが  
今、その頃を思ひ返して見ると一興にちがいない  
(顔色をかへ本、腹をたてず、よんでいたゞき  
度い、もう歴史物ですか) M生

去る十一月十日(一九四五年)聯合青年団定期  
総会、役員改選の結果、団長及副団長の  
更迭が行はれたが、今回の改選は事前の空  
氣から洞察するに、尋常一振の意圖に非ざ  
る事明白ならぬものがある。私はこの改選  
の動機について愚見を述べ、新役員並に各  
青年団首脳の方々の二考を願は、度いと思  
ふのである。  
ハスト聯合青年団は毎年十一月に定期総会



正月二日 午後二時  
午後九時  
三日 午後二時  
午後九時

四日 午後十時一回

# 女の眼鏡

松竹大映画 原依舟橋聖一  
監督原研吉

主演  
高峰秀子  
佐分利信  
津島恵子  
佐野周二

面白く映画... 深刻な映画... 先づ日本映画の最高峰...

正月五日 夜九時 錦繪さながらの  
横網東富士の土俵入

# 千石まとい

大江戸の錦蘭刺繍 大伴と角力  
挿しは子力沢寛 監督けつき相弘

主演  
片岡千恵蔵  
市川右太衛門  
月形龍之介  
花柳小菊  
長多川千鶴

正月六日 夜九時 恋と任侠の  
飄逸ものがたり

# 新遊俠傳

恋の仁義 河童やくざの二人組  
火野葦平 原作 青春滑流 監督ものがた

演出  
藤田進  
藤原久  
川崎潤  
花井蘭子

前頁より

があり役員改選が行はれるから、今次正副団  
長が更迭したからといって表面何等不審な  
点はないのであるが、新役員を要望するに至  
った原因を一瞥する時、一種のクーデターの意  
味をもった旧役員排撃運動ではなかったかと思  
ふのである。勿論青年団は一種の自治団体だ  
から役員が団員に信望と失ふが如き場合は或  
は排撃の行はれる事もあり得るであらうが、今  
決の場合、少くも田舎をある事情の存在を看  
過するに過ぎない。此れはバスターズ聯青の發  
展史の餘録として、とつておき度い特異である  
八月十五、停戦停表のラジオ傳へらるるや、之  
と同く、之と同く傳へた人々は顔色を失ひ、あり  
得べからざる事態發生に直面して一時茫然

としてしまったのである。当時の聯青幹部  
たりし総務阿部一郎、文化部長菅波信  
朗両氏は、逸早く祖國の必折を警告し団員  
の奮起と覚悟を促しつつあった折柄、強硬  
に戦勝を主張する一派が、擡頭し一時は混戦上  
る状態を呈するに至つたのである。  
両氏は諸所を歴訪し諸名士の意見を敲き  
自説の大過なきを確認するや、爾来敢然  
として団員諸氏に真相を傳ふ可く日夜心肝  
を砕いた模様である。  
何故に戦必折警告としなければならぬか  
此の問題は要するに、正しく認識の上になら  
ざる青年運動は空中の樓閣に等しいと  
いふ根本的な指導理論があるからである。



一時的な達言に安んじて退縮を諷するは軍に  
 個人的な過失であるばかりでなく、事いせしくも  
 団体に拘はる以上責任重大であるからである。  
 故に両君の心中に決死の覚悟のあった事勿  
 論であらう。多数の反対異論を押し退け  
 挫折を承認することは頗る遺憾な役目である  
 が之により一日も早く再起の姿勢に立ち直り得  
 ることこそ青年団の義務であると説いたのであ  
 った。

青年団の覚醒と結末は、やがて浪嶼、給養せ  
 る世俗の論を一本の大道に拾集する大勢力と  
 なり、将来社会人としての重大性と確保せ  
 らんとする青年層の飛躍の一階段たること論  
 を後たぬのである。

別言すれば、青年たちが世の本鐸となるの  
 である。今日以後、吾々移植民の生活態度は精  
 神的に一変するかも知れない。戦争の逡巡結  
 末へ自説の蘊断を以て足れりとする如き老  
 人の蒙と吾々が答へたいといふ位の氣遣で  
 あつたかも知れないのである。  
 願はばさうあり度かつた。明治維新の機運を  
 作り之に参加したのは大方当時の青年層であ  
 つたのである。

# POSTO SETE

## ポ ス ト セ テ

謹賀新年

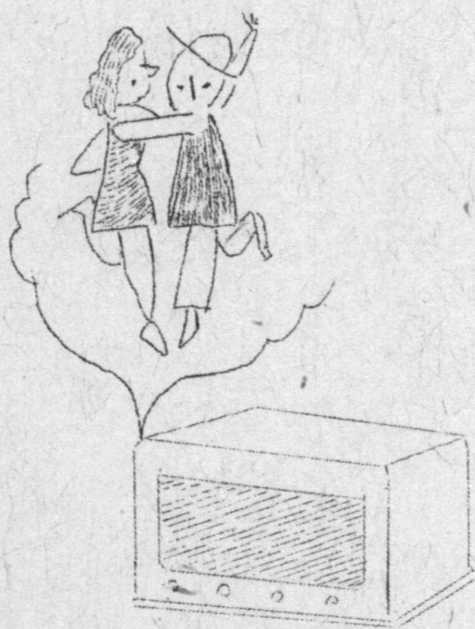
一九五三年一月元日

ガソリーナ  
 ラジオ  
 自動車  
 附属品  
 一式

林 武 七

アネッル、バロス街 角

郵函 一四一



謹賀新年

### バン ダ ラン テ 養 鶏 組 合

バストス市  
 テイスネ、ベンブ街  
 邦画 一七五番

恐らく今次の大事件の真相と速早く把握す  
 るものは、青年であり、亦先して國難に参加し  
 身を以て再建運動の烽火を上げるのも亦青  
 年であると私は信じていた。  
 比較的俗化されない純真な魂に反映する  
 先は必ず偉大なる反響を發し、これが主因  
 となつて真実を掴まんとする。あらゆる努力  
 が拂はれると考へていたのであるが、事実は必  
 ずしもそうでは無かつた。(紙面の都合上以  
 下文字へ……とする)

……青年団員諸氏の批評を乞ふ……



マツトクロッソ州は、きわめて近き将来必ず開發される、南米の一大咖啡地帯と今の内には是非確保せられよ

クヤバ植民地 第二回分譲開始

○ 総面積 五十万アルケレスの内 豊饒肥沃の原始林十萬アルケレス分譲

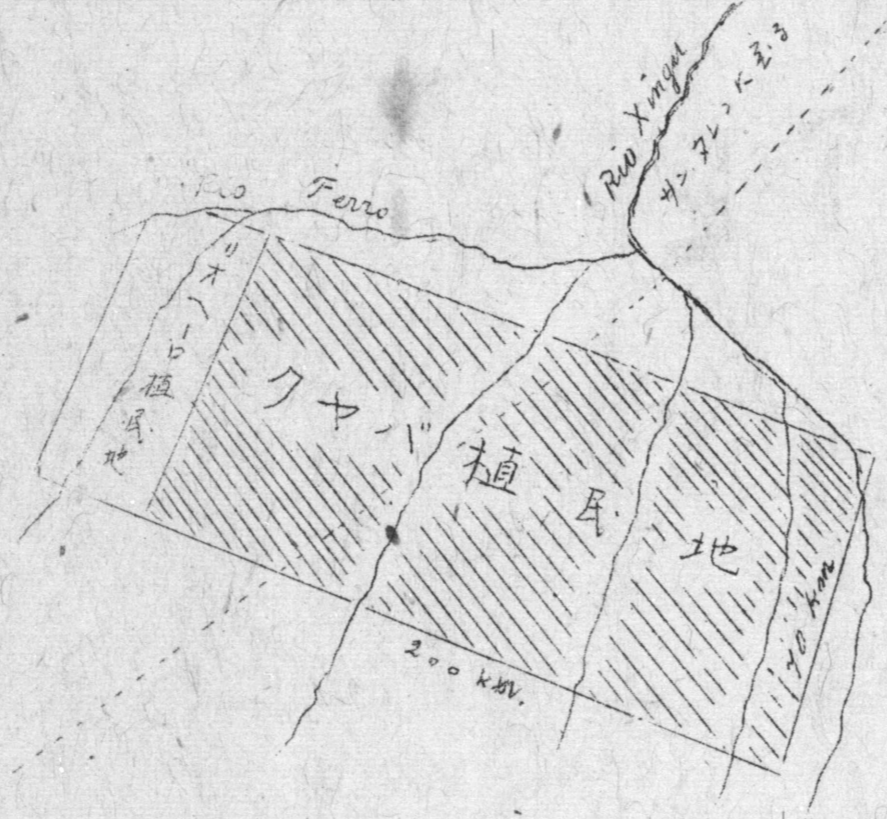
○ 交通 首都クヤバ市より僅か二百キロメートル、伯國政府直屬の植民事業（

○ 位置 クヤバ郡内 リオフェーロ地帯

○ 地質 テーラロツマ又はマツペ、パウネリオ、ネネラの處女林カキ、其他万作に適す

○ 標高 六百米乃至七百米

○ 地権 絶対確実



○ 麻州へ麻州へと

草木もなびく

○ 今や萬人の眼は

麻州へ注がれ

○ クヤバ植民地は

人氣の焦点とて

○ クロイズアツソ

されています

謹賀新年

一九五三年元旦

クヤバ植民會社

責任者 佐野武男 米沢徳明

バストス 総代理人

藤原忠次郎